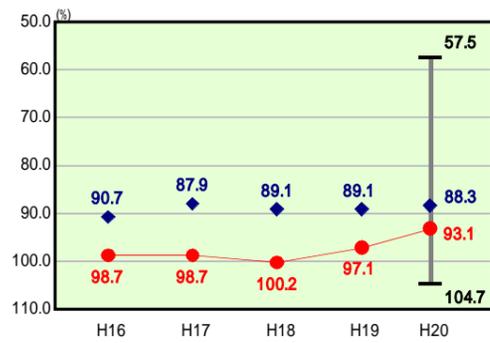


# 歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

## 経常収支比率の分析

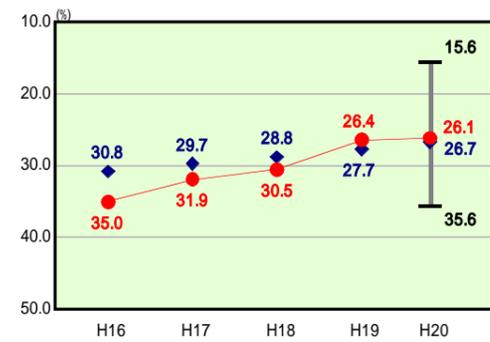
経常収支比率(合計)



● 当該団体値  
◆ 類似団体平均  
— 類似団体内の  
最大値及び最小値

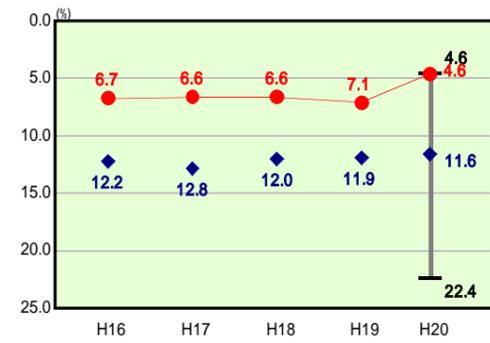
H20類似団体内順位 55/78  
全国市町村平均 91.8  
福岡県市町村平均 95.3

人件費



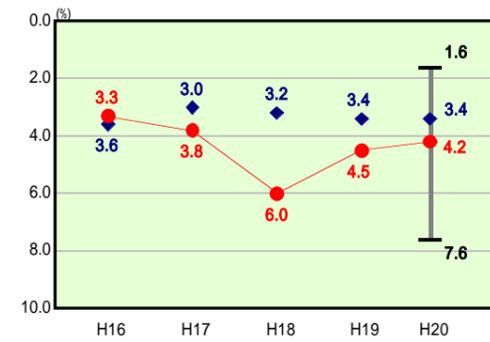
H20類似団体内順位 32/78  
全国市町村平均 27.2  
福岡県市町村平均 23.8

物件費



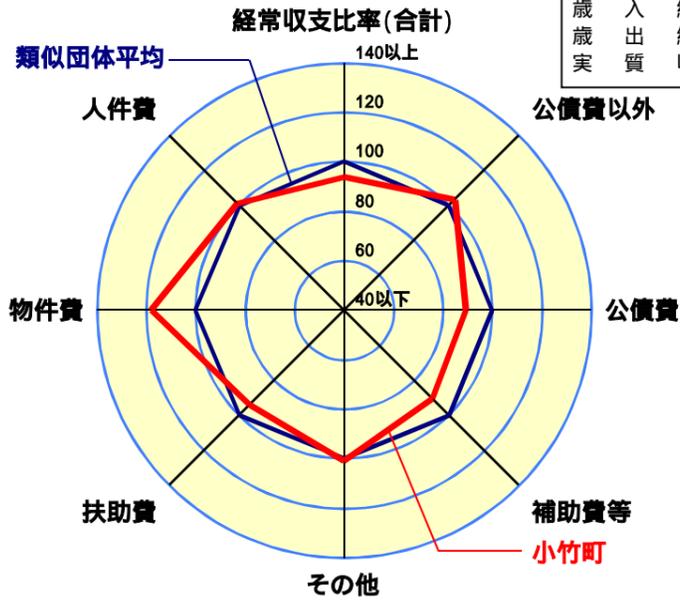
H20類似団体内順位 1/78  
全国市町村平均 13.1  
福岡県市町村平均 13.2

扶助費



H20類似団体内順位 53/78  
全国市町村平均 9.1  
福岡県市町村平均 11.4

人口	8,979人(H21.3.31現在)
面積	14.18 km <sup>2</sup>
標準財政規模	2,548,497千円
歳入総額	4,293,544千円
歳出総額	4,183,706千円
実質収支	68,844千円



- 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

**人件費**  
行政改革の一環として、職員数の削減に努めてきた結果、類似団体の平均より0.6%下回っている。今後、さらに各所管課が担当する業務の範囲を見直し、施策の内容及び手法を見直しながら、定員の適正化に取り組む。  
また、適切な行政サービスを提供するため、組織・機構を簡素化及び合理化し、その他民間委託又は指定管理者制度を導入することにより定員の適正化を図る。

**物件費**  
物件費に係る経常収支比率が類似団体等の平均を7.0%と大きく下回っているのは、行政改革大綱に基づき大幅な節減のための努力をしたことによるものである。具体的には、日当の廃止など旅費規程の見直しを行ったほか、業務委託を見直し、可能なものは職員で対応するなどの取組の結果である。

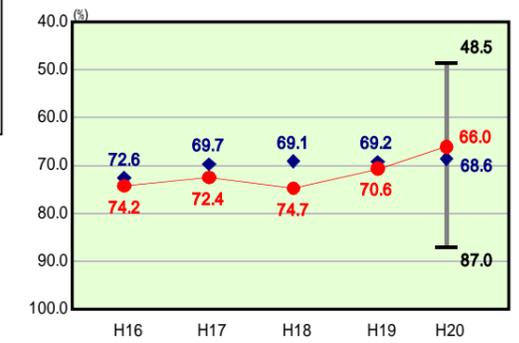
**扶助費**  
扶助費に係る経常収支比率が類似団体の平均を0.8%上回った理由としては、障害者自立支援給付費及び乳幼児医療費の増が挙げられる。今後も、同額の経費の負担が予測され懸念される。

**補助費等**  
補助費等に係る経常収支比率が類似団体の平均を4.5%上回っているのは、し尿、じん芥、消防などの一部事務組合に係る負担金が多額であることが主因である。  
ことに、し尿及びじん芥に係る施設改修による公債費の償還に対する負担金の増額が当該比率を大きく引き上げている。

**公債費**  
旧産炭地から脱却するため、過去に施行した大型公共事業のため地方債現在高が増加した影響で、地方債の元利償還金が膨らんだ結果、公債費に係る経常収支比率は、類似団体の平均を7.4%上回っている。  
公債費の負担は大変重い、行政改革の一環として毎年の起債発行額に制限を加えており、平成24年度をピークに現在高が減少に転じる見込みである。

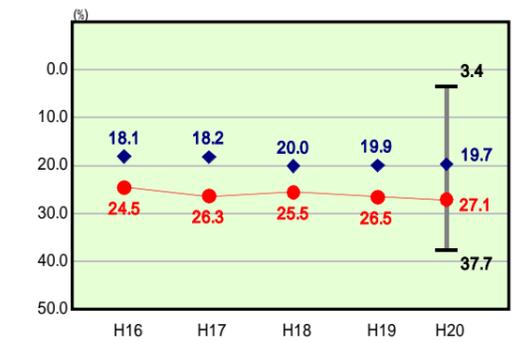
**普通建設事業費**  
人口一人当たりの決算額は、67,647円であり、類似団体の平均より14,611円少ない。経常収支比率の悪化防止はもとより、行政改革の一環として、現在の投資的事業を抑制している。

公債費以外



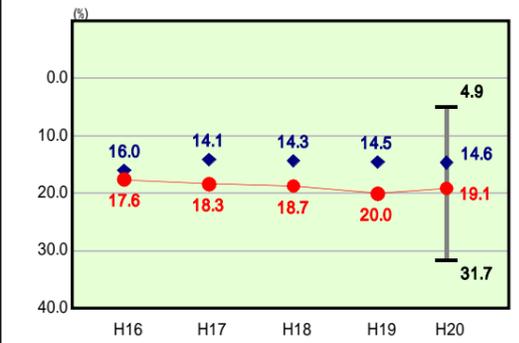
H20類似団体内順位 24/78  
全国市町村平均 71.7  
福岡県市町村平均 71.4

公債費



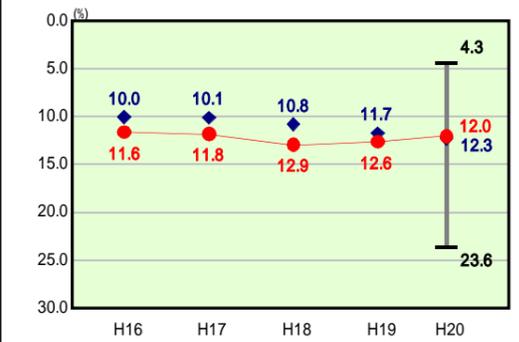
H20類似団体内順位 69/78  
全国市町村平均 20.1  
福岡県市町村平均 23.9

補助費等



H20類似団体内順位 64/78  
全国市町村平均 10.6  
福岡県市町村平均 11.8

その他



H20類似団体内順位 44/78  
全国市町村平均 11.7  
福岡県市町村平均 11.2